

事務事業 No./名 称	■サービス部門 環境-03 減量化資源化運営事業									
	□支援部門									
主管課	ごみ減量・資源化推進担当		関連課	資源循環課・環境施設課						
分野名	生活環境									
目標 (目標値)	鎌倉市一般廃棄物処理基本計画ごみ処理基本計画の着実な進捗を目指す。									
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考					
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人						
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯						
運営資源 状 況	事業の対象者数									
	決算値(千円)	0	0	0						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	0								
	人員配置数	3.0	0.0	0.0						
	人件費(千円)	26,156								
事務事業 運営経費	協働の パートナー									
	総事業費(千円)	26,156								
	市民1人当 りの経費(円)	148								
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒									
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
ごみ焼却量	◎	目標値	—	—	39,553トン	39,523トン	26,163トン			
		実績値	—	—	39,100トン					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価 適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要										

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	平成23年6月13日に策定された鎌倉市一般廃棄物処理基本計画ごみ処理基本計画の着実な進捗を管理する。
課題解決のための取組	単年度ごみにアクションプログラムを作成し、着実な事業の推進を図った。
未解決の課題	ごみ焼却量削減施策の効果及び検証が十分に図れていない部分があった。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価と今後の方向性							
中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止		※□事業完了
		②妥当性	○			限られた職員数、財源、時間を踏まえ、優先順位をつけて目標達成に努めていく。	
		③有効性	○				
		④公平性	○				
					B	課長等名 ごみ減量・資源化推進担当担当課長 小池 忠紀	

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
主な個別事業					☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
主な個別事業					☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
主な個別事業					☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
主な個別事業					☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
主な個別事業					☐ 適切 ☐ 見直し余地あり